

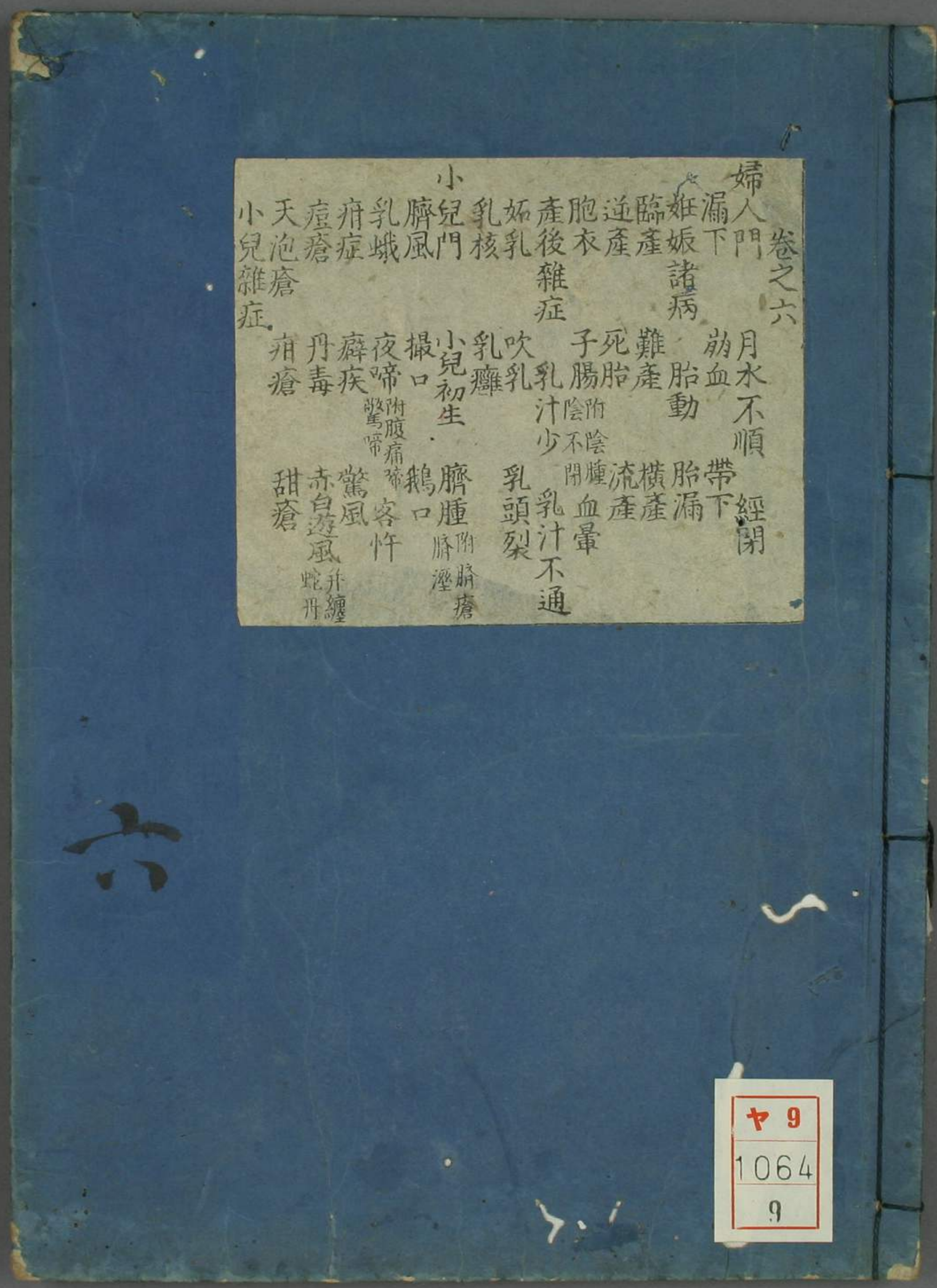
KODAK LICENSED PRODUCT

MI

J

U

KODAK Gray Scale



婦人門 卷之六  
 漏下 諸病 崩血 月水不順 帶下 經閉  
 臨產 難產 胎動 胎漏  
 逆產 死胎 難產 橫產 流產  
 胞衣 子腸 陰腫 血暈  
 產後 雜症 乳汁不通  
 妬乳 吹乳 乳頭裂  
 乳核 小兒初生 臍腫 附臍瘡  
 小兒 臍風 撮口 驚風 客忤  
 疳症 夜啼 附腹痛 驚風 赤白游風 并纏  
 痘瘡 丹毒 疔瘡 甜瘡  
 天泡瘡 小兒雜症

ヤ 9  
 1064  
 9





普救類方卷之六



婦人門

胎水不順

林良適  
丹羽正伯

纂輯

月水さるるに或いはややく或いはおらん又ハ甚多く甚少く因ド  
格不調に生不順にカクた

藜藜根根にさるるに或いはややく或いはおらん又ハ甚多く甚少く因ド

用ハ本草綱目

又方香附子醋不浸もあつても見極めしこく湯又煮かたじ  
焙り石臼小入杵粉しこく糊しこく胡椒の大さに丸ド  
湯に醋液さしこく煮下しこく同  
又方白芷百草霜等分粉めしこく一たび沸湯の中一煮  
便少し磁少しこくいまかきませ右の粉を磁のまじりこく同





又方阿膠炒粉一一二酒不レの一一二千金簡易方  
又方芙蓉酒少一一二第一に炒粉一一二一三つ一後一  
當歸の一湯一ゆ一用一白一一方一に一粉一加一入一湯一使一て一春一る一に一  
傳信尤易方

月水不レ吐一一二後一吐一吐一  
當歸粉一少一一二一三つ一後一吐一吐一  
去一て一二一三一つ一後一吐一吐一  
月水一不レ吐一一二後一吐一吐一  
甜瓜仁一を粉一一二紙一小一つ一一二一三つ一一四水一に一  
搥一ま一ぜ一飲一べ一一二千金簡易方

經閉  
經閉一ハ月一あ一く一一二過一せ一ざる一かり一  
茜草根一依一酒一を一蒸一じ一の一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
本草綱目

又方芥子一紙粉一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
又方厚朴一二一三一四一五一六一七一八一九一十一一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
或ハ桃仁一紙粉一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
又方虎杖一六一七一八一九一十一一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
小一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
又方馬鞭草一を粉一一二紙粉一一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
或ハ馬鞭草一紙粉一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
又方絲瓜兒一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
或ハ小飲一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
月水久一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
虎杖八一九一十一一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十  
合一一二一三一四一五一六一七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十















又方赤馬蹄をせき粉にして二匁酒にゆたひき搥ませ用白  
白帶下に

槐花炒牡蛎煨等分粉して二匁づ酒あそ用也 本草綱目

又方鷄子と艾草を紙ひらひに酒ふりれ煮て鷄子紙合ん

粉し毎の食し一匁づ用也

又方杏仁を冬底の仁を炒粉して二匁づ飯のこりと湯を

用也 同

又方白鷄冠花と壺草を等分せ粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方半反十匁まきまき粉二十匁粉して一匁づ炒黄

粉し粉を紙にのりて煮て粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方大豆の皮を丸に丸して一匁づ酒

あそ用也 同

又方棕櫚絲瓜等分せ粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方三陰交の穴より左右各杖つて各一寸一匁づ酒

あそ用也 同

又方三陰交の穴より左右各杖つて各一寸一匁づ酒

あそ用也 同

又方鼈甲紙をせき粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方鼈甲紙をせき粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方鼈甲紙をせき粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方鼈甲紙をせき粉して一匁づ酒

あそ用也 同

又方鼈甲紙をせき粉して一匁づ酒

あそ用也 同



懷妊

少一... 本草綱目

伏龍肝を粉り一盃... 水に入れ飲べ

又方葛根を搗けをりの... 千金簡易方

又方槐実... 又方葱白を中と煮...

又方艾葉二盃... 小便血出...

懷妊

又方大... 懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊

懷妊

又方大... 懷妊



大方の雞一匹赤小豆二合半水又神いま煮熱しと合  
しけをこ飲へしおちく食して大便りく瀉本草綱目  
又方山柘子皮炒粉しと二合で飯のち湯ふて用也  
ハ糊しそ福り丸ど用るとより同  
又方赤茯苓皮をすり葵子等分粉しと一合で飯そ  
乃水とて用也小便通しと福り丸ありてより同  
又方羌活をわくくまきと蘿蔔子と用どく炒香きし  
蘿蔔子灰まり羌活をろりを粉しと二合で飯と酒に  
と用也同

懐妊心いふむし

麻仁二合水天目小豆二合入八分めた煎どつめ用也同  
又方煨瓜やも赤く煮てと分酒ふれのみむべし同  
又方艾葉茴香若棟子等分同どく炒醋しと煎ど

月引 千金簡易方

又方青竹皮けづりよく一合酒二合と煎ど二合度沸た  
りよくすりとのとてより傳信尤易方  
又方鷄子一つおやぶり湯にのまかきやせ飲より同  
又方密紙井底紙ふりし海世心の色にぬりてより同

懐妊胎いふむし

熟したる枣十個炙燥ぶし粉しと小便ありて下す

本草綱目

又方芙蓉三分芍薬四分白朮一分天目小豆二合酒と一合  
に煎どつめのとてより千金簡易方  
懐妊五つた胎氣おちり腹痛甚く死んでくるに  
新生物も皮打破りて碗の内におれ糯米粉を塗りおかし  
かたせきとすりしとより胎動さゆると血りかふ







得効方

佛湯ゆはかきませ日ひ小こと夜よつ合あ方か小こ用ようの

懷くわい妊にん小便せうべんととりて通とりかぬか子こ淋りんといふ

地ち膚ふ草そう五ご々々水すい合あ入い二に合あ半はん子こ灸せう一いつつ多おほくく香かうべべ一い暴ぼう證しやう知ち要やう

又また方かた蕪わ菁しやう子こ灰かい粉こな一いとと一い々々つつ水すい五ご合あににかかききせせ日ひり

又また方かた貝かい母ぼ苦く參さん當たう歸き等とう分ぶん粉こなめめ一い蜜みつをを移うつりり小こ豆まめのの大おほき

にに丸まる一いとと三さん粒りゅうづづ白はく湯たうをを同どうのの水すい才さい小こ加かへへとと十じゅう粒りゅうりりののこ

ろろべべ一い本草綱目

又また方かた冬とう葵き子こ三さん々々茯苓ふくりやう二に々々粉こな一いとと二に々々つつ米まい飲いん水すいとと用よう

也や得とく効きう方かた

又また方かた車か前ぜん子こ五ご分ぶん葵き根こん八はち分ぶん天てん目め一い盃はい水すい入い八はち分ぶんにに煎せん

一いつつ水すい用ようのの小こ便べんをを通とりりととききととりりにに用ようのの熱ねつ淋りん

をを治ちふふよよ一い本草綱目

又また方かた地ち膚ふ子こ灰かい水すい中ちゆうとと煎せん一い用ようのの煎せんハハ煎せんをを煎せん煮にてても

一い千金簡易方

懷くわい妊にん小便せうべん通とぜぜととりりに

滑くわ石せきのの粉こなをを水すい中ちゆうとと移うつりり脚かか乃の下した二に寸すんにに貼はべべ一い同どう

又また方かた赤せき茯苓ふくりやう一い々々冬とう葵き子こ一い々々水すい天てん目め一い盃はいののれれ一い盃はい小こ煎せん

一いつつ水すい用ようのの轉てん胞ぽうののととれれ一いつつ水すい天てん目め一い盃はいののれれ一いつつ水すい用ようのの煎せん

煎せん湯たう小このの水すい用ようととりり一い結けつ胞ぽうのの水すい中ちゆうととりりととききととりりにに用ようのの熱ねつ淋りん

ととりり同どう

又また方かた枳し榔らう一い々々赤せき芍せき藥やく一い々々水すい天てん目め一い盃はいののれれ一い盃はいにに煎せん

一いつつ水すい用ようのの煎せんととりり一い傳でん信しん尤い易い方かた

又また方かた蔓まん荊けい子こ粉こな一いとと二に々々煎せん水すい中ちゆうととりりととききととりりにに用ようのの煎せん

一いつつ水すい用ようのの煎せんととりり一い傳でん信しん尤い易い方かた

又また方かた葵き子こ灰かい研けん榆い白はく皮ひ一い々々水すい中ちゆうととりりととききととりりにに用ようのの煎せん

一いつつ水すい用ようのの煎せんととりり一い傳でん信しん尤い易い方かた



懷妊 小便の通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

用也 本草綱目

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

用也 同

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

用也 同

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに

懷妊 小便の通ずるに 通ずるに 通ずるに



神效... 婦科... 胎前...

さう貝母紙粉... 砂糖水... 九ト一粒づつ... 又方白朮黄芩當歸等分粉... 又水... 同

妊婦胎の中... 黄連を水... 又方久...

子煩ハ胸の中... 黄連の粉... 又方久... 同

懐妊胎... 胎動... 子煩ハ胸の中... 黄連の粉... 又方久... 同

懐妊胎... 胎動... 子煩ハ胸の中...

當歸口... 貝母紙粉... 千金簡易方

又方冬瓜子... 又方杜仲炒... 又方...

胎動... 葛蒲根... 又方生地... 又方...

又方蒲黄... 又方...

神效... 婦科...



又方知母紙粉一匙さ入大豆の大きに丸一つ字  
粒粥のう湯中でのむべし同

又方薤の根一匁ま當歸五分ぶ水天目てんめ一盃半は入す分ぶ煎せん  
つり用つりの後のち之をいいむむ小用こととしし同

漢かんくく倒たうれれななととくく胎動たいどう後のちいいむむしし  
編砂へんさを炒ちやう皮ひ去き粉こなして二にままづづ熱酒ねつしゆ小こいいままかかささをを飲のべべ

一いとと一い酒しゆを飲のむむ者ものは艾あ葉は水すいをを煎せんてて藥やくととけけしし極ごく  
少せう一いつつれれたたのの葉はををいいままううききままぜぜののととしし同  
千金簡易方

又方青竹茹あせけけつつりりせせ合酒あひしゆ二に合あ半はん中ちゆう煎せんてて藥やくととけけしし  
沸わくくてて吞のべべしし同

又方川芎せんきゆうを粉こなして一い匁ま酒しゆをを用もち西さい子し後のち中ちゆうめてめて死しするする  
ほほもも用もち也なり 本草綱目

胎胸たいちゆうよよつつささののけけりりららん

葡萄ぶどうを水すいでで煮にてて藥やくとと飲のべべしし同

胎動たいどう後のちいいむむ艾あ葉は水すい下げしたした

糯米こめをを煎せんてて水すい下げしたした  
つめつめををいいむむ小飲せうきんととしし同  
十便良方

胎たいううごごのの腰こしいいむむ或あるハハ胸ちゆうにに衝つののけけりりいいむむ血ちゆうりりててやや酒しゆをを飲のむむ  
艾あ葉は一い匁ま分ぶんをを酒しゆ天目てんめ一い盃はいののまま一い盃はい煎せんててししらら

のむべし同 本草綱目

又方楸きゆう榔らう子しをを粉こなして一い匁ま葱そう白はくれれ煎せんてて用もち也なり 彙聚單方  
又方鷄けい子し二につつ打うちやや煎せんてて白はく粉こなよよかかききままぜぜ食じきととしし同  
本草綱目

又方百草霜ひやくそうそう二に匁ま棕そう櫚しやや煎せんてて灰はいととしし同  
一い匁ま伏龍肝ふくりゅうかんをを粉こなしし  
志しとと一い二にままづづ白湯はくたうでで酒しゆとと煎せんてて飲のむむととしし同

妊婦にんぷをを胎たいううごごののけけりりららんん  
黃連わうれんのの粉こな一い匁ま酒しゆめめくくののむむべべしし同





凡人の争ひ怒りどしどし胎をこたえつゝのかり息をさしに  
苧根一握生薑五片水五合して煮下し三合を煮つゝ粥の半  
へいま搥ませ合志をとりし 千金簡易方

胎漏

懷妊の内月水のおとく血りりて止まらば胎漏といふ久しく止  
まれば血尽すて子死するものなり

用ゆ 本草綱目

又方阿膠二名酒炙目た二盃すのれ一盃を炙どつめ飲べ同  
又方生地黃乾姜等分粉うしそ二名づつ温る酒炙飲べ同  
又方香附子代炒粉ふしそ二名白湯ふいまのむべー同  
又方葱一把あまきほ葉どりのそとより 救急易方  
又方生艾汁二椀の内へ牛皮膠蜜各二十名をれ一椀半

に炙どつめ熱しそ飲べーあま生艾なくハ乾艾代用しそ  
より一方に薑竹をけつりて一塊を煮て黄ト用りそ  
よー 衛生易簡方

臨産

子儀産やまうしむむらに

鼠を中し粉うしそ一盃酒までのもそとより 本草綱目

又方路の旁ふまてし破草鞋をむらひ洗ひさうしそ  
焼灰しそ二名酒まで飲べー太の糸紐切て居しそハ  
産室かろぶしそ一愛ふかりて居しそハ子死すとなり同  
又方米代籾箕ふあ代がしそこれ碗ふかあけのまこハ  
やど飲べー同  
又方甘草生薑烏梅等分あまて炙ど飲べー得効方  
養生の方ハ今いふとやめの業なり







に飲べし或は水とて用るもよし 千金簡易方

産子のぞも腰へさみつて子之便乃さしとるに

塩漬糞納すつて腰を懸てとるよし 同

産にのぞみ無血心ふつてのなり或は後中血塊ありていふむに

大黃十を粉し頭腦二合を熱膏に豆の大きに丸

し又粉をさめたる磁石のひび 葉聚單方

横産

横産は妊婦努力つとるに子後中して横に倒さるるなり

兔絲子煨粉し一を酒めく用ぬ或は牽牛子を等

分粉り用てよし 本草綱目

又方九月九日に櫻の根をさし焙乾し貯おとて用る附

にありそやき粉し二を酒めく用ぬ一切乃雜産しを用

てよし 同

又方蛇蜜し等分天目小一盃とすかよ煎どつめ飲

べし 同

又方梁上塵と酒とて飲べし逆産にも用てよし 同

又方烏蛇蛻一ツ蟬蛻十四胎髪一握やき灰しとて二を

酒よ入めさかせのそ仰臥べし時いそりて頓下せし

たり逆産にも用ゆ 傳信尤易方

又方妊婦の右の脚乃小指の骨りに灸と三壯をへし

灸の人より小麦粒しとて逆産にも用てよし 同

又方車裏白飲等分粉しとて二を白湯しとて用ゆ横

産よ二服せしとたり小用ゆ逆産よ三服せしとて

一切雜産死胎にも用ゆ 千金簡易方

逆産

逆産は今公さうみそり足切もあり



瀝して産婦の胎とより并よかゝる子の是乃う瀝と  
わり危うして去らりに抗るし出さる是かめづら

りるなり 本草綱目

又方麻子十四粒漬して香りとへし胎かろづら

りるなり 同

又方蛇蛻と炒こがし粉と大豆二粒を酒と飲べし

胎かめづらかきとへし換産にも用てり 同

又方原蚕紙とやき灰とて二三枚のすり湯と飲べし

換産にも用てり 千金簡易方

又方蓖麻子二十粒研とら産婦の項乃髪とかり

刺さり木の葉とゆりてり 去らるるに 胎中とて子

胎とる液是へ急小頂に付る葉と丸なり産婦の

脚のうらに右の葉紙塗てり 同

又方けいし子足とかり けいし子足のうらに細き汁  
と二三夜やぐささるるに けいし子足のうらに細き汁  
とてり 同

死胎

胎動或は胎産して子胎中死するは婦人の口中

糞の小りひか面唇多くは足次長と短の甲もさ

とのちり或は血りり口嚙し氣とてりあまわり

冬葵子と粉とて一盃酒よの飲べし 産婦に嚙

りるなり 本草綱目

又方當歸一匁川芎二分水天目一盃すのれ煎とる

乾やしふしす水天目一盃すのれ再び糞と沸

して用ゆ胎いもさ換せざるは胎のいもさ換

りるなり

りるなり

りるなり



くわんおのぐうろ下るべし 同

又方紅花と頂して葉ト走らりに用てし 同

又方肉桂の粉ニ五童改はのこ煮わらめ痔婦腹のいこ

葉とと清くくのこさるべし 同

又方烏鷄一羽毛ととり肉ととり水七合半はとみ合し煮つめ

鷄ととりまけは布と候し腹の下と質てし 同

又方朴硝の粉ニ五童便はのこす此のじべし 暴證知要

又方槐角十四又粒津よく吞くらし 千金簡易方

流産

小産血りて止むに

桑蠶虫をやさ灰しして二盃温く酒を用法 本草綱目

又方小薊根葉よく小豆母茶と等分し水天同く三

盃のれ一盃は蒸じつりのこしてし 同

又方榆白皮當心焙りて等分生薑一片れ水と煮し

用法 同

懐胎の婦人茶毒よわり小産して腹いこふ

扁豆皮をとり粉して一盃飯のすり湯とて用法 同

懐胎のなる小産するふ

杜仲八十女糯米と水と煮しけを浸しけを炒る

線と経しめ續断二十女酒よむし焙り乾し粉し

山菜又六十女経とりて太二味の茶と移り梧子の太ふ丸ド

焙りし再ひとりて乾き肉と移り丸ドと糯米を水と

て煮しけを飲りし 或は二月め或は六月めすやこ







ハ子腸より作りてり 千金簡易方

又方鹿麻子殼とすり研てらり 鹿婦の脳頂より作りてり

ハ子宮作りてり 魚小湯とて洗ひ去へり 同

鹿後陰門腫るる方

本草綱目

桃仁とやを研ぶり付てり

又方松壳七八分炒薬し 故布とつと腫るる本と煎して

冷せば丸久とのとべり 千金簡易方

又方乳香葱白同く搗き 腫の上より貼てり 同

又方桃仁研膏のどく 白朮八倍子等と粉しむとや

研ませ付へり 得効方

鹿後陰門腫るる方

鹿黄烏賊骨各五分又味子一分粉して付へり 同

又方鼈板をやと粉し 一とづあて用ゆ日よ二夜つ

用てり 本草綱目

又方陰門と湯とて 洗ひ氣屎去る 故布とつと煎して

陰門とぬきとく 同

又方白朮と水とて 煎して二夜つて後右の黄

湯に白朮をいれぬき 黄と洗ひてり 同

又方荊芥皂莢等分し 水とて 煎して後鐵漿をま

上に作りてり 同

鹿後陰門腫るる方

石灰と升熱換し 水汁の四へ入れ 土門へ鹿婦と煎し

め洗れり 千金簡易方

又方硫黄呉茱萸免絲子各六分 蛇床子八分とつとて水とて

洗黄し 陰門とあひてり 得効方



血暈

産後血の道よく眩暈をもちし者ハ卒死するあり

蘇木二匁水天目一匁入一盞は煎じつめ酒少をうすく

沸して飲る 千金簡易方

又方炭七ヤシ赤くく 醋の内へつとを烟を喫てく 同

又方紅毛二匁水天目一匁酒一盞は煎じつめ酒少をうすく

又方用ゆは産婦口嚙るふハ口とわしあけ灌つてく 同

又方醋以煎じつめ酒少をうすく 同

又方陳艾を水に煎じつめ酒少をうすく 同

又方荊芥醋して煎じつめ酒少をうすく 同

又方乾蓮葉と水に煎じつめ酒少をうすく 同

産後雜症

産後中風舌をさし言をせし者ハ

芥子一合研醋二合して煎じつめ酒少をうすく

又方竹瀝を水に煎じつめ酒少をうすく 同

又方白鮮皮と酒に煎じつめ酒少をうすく 同

又方當歸荊芥等分して二匁水天目一匁入酒と煎じつめ酒少をうすく

又方一匁小葉一匁飲べく 同

産後中風背脊口嚙と嘔逆つとに

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同

又方一匁小葉一匁飲べく 同



大豆七合しちごうを熱熱ねつねつ一器ちゆうに酒しゆ一升しやう三合さんごう入れいれるるまで酒しゆ減へん分の益えきはひふけおおかりのの用もちて汗あせをかかせせるる千金簡易方

産後さんご中風ちゆうふう悪血あくけついいるる自汗おのれあせいいづづるるに  
独活どくわつ二十じゅうに五ご當歸たうき十じゅう五ご酒しゆ又また合あううてて葉えトト二合にごうをを煮ゆつめつめ津つより

産後さんご惡血あくけつとと心こころいいままむむに

蓮葉れんえつを炒あぶ粉こなして一いち合ごう漿湯じやうたうして飲のべべ一いち或あるハハ童便どうべんして

用もちもも一いち或あるハハ灰はいして用もちもも一いち本草綱目

又方また壽令じゆけいとと粉こな一いち醋じゆ一いち合ごう吸ひくくてて煎せんるる一いち同

又方また白雜はくざつ冠かん粒りゅうとと酒しゆ一いち合ごう葉えののひひべべ一いち惡血あくけつ脈痛みやくいたうもも一いち同

又方また桑樹そうじゆ乃の四し此こ虫むしのの糞ふんとと炒あぶ葉え一いち合ごう少せう量りやうをを飲のべべ一いち同

又方また大豆たうまめを炒あぶ酒しゆととれれののままをを酒しゆととののままをを一いち同 千金簡易方

産後さんご惡血あくけつ心こころのの衝つののかかせせるる人ひと若わかくくもも一いち同

生比なまひ黃わう一いち合ごう藕お一いち合ごう童便どうべん一いち合ごうをを煎せんるる一いち同

又方また葫蘆このの莖き十じゅう握ごややどどききとと水みづ二合にごうをを煮ゆつめつめ津つより

つめのつめののままをを一いち同 千金簡易方

産後さんご癩魚らまをを腹はらいいづづつつららに

羌活きやうかつとと酒しゆ一いち合ごう葉えののひひべべ一いち本草綱目

又方また生藕なまおををつつけけとと去いばばりり三合さんごうののままをを一いち同

又方また蒲黃ぼわうのの粉こな二に合ごうののりり湯たうととののひひべべ一いち同

又方また鬼頭きとうをを炙あぶりり換かへへ腹はらととぐぐはは痛いたむむひひべべ一いち同

又方また黃桂わうけい心こころをを分わ粉こなして二に合ごうをを酒しゆとと用もちゆゆ癩魚らまりり

又方また當歸たうきととののひひべべ一いち同

又方また當歸たうき又また乾漆かんしやく二に合ごう分ぶん粉こなして蜜みつとと移うつりり豆まめのの大おほ丸まるト

二十粒じゅうにりゅうづづをを腹はらとと用もちゆゆ得え効きう方



産後腹痛いして之かきんに

牛蒡根を水にて煮て用少 救急易方

又方沢蘭を水にて煮て用少 傳信尤易方

又方烏朮を水にて煮て用少 傳信尤易方

又方當歸芍薬川芎乾姜炙入うぐいす各等分粉して

て二匁づ温酒を酒して吞べいして又使浮きくみく

産後瘀血腰痛より入く腿いこも胸さたつ入きせりく

あはれいしむふ

淡竹葉を水にて二合やど生煮入片水四合も二合も煮て

つら用く

産後瘀血りくぐりに

桃樹上の乾枝を焼灰して粉して水みく吞べ 奇効草方

産後の腫氣小

沢蘭防己等分粉して二匁づ湯に醋とく用少 本草綱目

又方芭蕉の根を搗けと蒸り温めて用少 同

又方半夏熟湯にれ備りて去て十匁と白麩二十匁生

姜三十匁のけりて移り右の半夏紙つとセツふり解のど

くく炙り焦し粉して二匁づ水にて用少虚分の腫氣

しを喘促とく用て 得効方

産後嘔逆止むに

陳皮一匁半夏麩甘草各一分藿香二分とくして二匁づ

一梳り姜三片入葉ドのびべ 同 半夏麩の半製法の所にあり

産後嘔逆に

乾柿を切を水にて煮て用少 本草綱目

又方白豆蔻丁香等分粉して二匁づ桃仁の煎湯にて用少 同

又方胡門の穴は灸とく乳乳とくあげて乳乳のあはれ



頭門の穴より 治法彙

産後婦よりりる水と吐に

煎薬を搦けとり一椀の内へ生着けがれかきを飲べ

産後悪血のほり面青いりからんに

牡丹皮一文 乾漆やを烟をそり一文も天目二盃入一盃も黄

一つめのにてり 同

産後或は笑或は啼をどるに

柴を甲と粉し一飯のとり湯にて用ゆ 傳信尤易方

産後言とをりるに

白礬の粉一文 漿湯にて用ゆ 同

産後舌いてりるに

辰砂を産婦の舌につけ産婦の足より取ると盒の敷何

くても比よわたり音をさせり路りびり舌のづり

はらへり 本草細目

産後腹よりりるに

赤小豆二粒 研ゆ粉し一椀ありて吞下とべり 千金問易方

産後一分しるに

羌活独活酒よむとと二日して酒と吞べり 衛生易方同方

産後心気さまり邪氣をさのどく 蘇合をこれ言伝も心

一かづぶりに

好辰砂一文 研細し酒にて飲下とべり 得効方

産後湯つりに

煉蜜と漿湯よ入りませ用ゆ 本草細目

又方雜子一ツ打あり水二合の中へれりるを飲てりり

中も乾さ古きよりりるも同てりり 同

又方新しる石灰十文 黄丹五分をりませ一文づり 醋よれ揉ませ



吞べー同

産後虚分とけあふ

馬齒莧と研けとら一合程飲てら一若生の菓をくか

りさつらと水とて煎て用ゆ同

産後暴下虚一忽ら日月同行おく正氣をんに

雑子ニツニツおやぐら吞らしてそれとも醒ざらふ小便

の小便合程さるりに漉つて一麻衣の男子乃小便して

り一若久しく醒ざらば風をあらうらるるなり竹瀝一椀と用

てら一得効方

産後盗行いづるに

呉茱萸を酒の口へえ浸せとせ日して煎て飲べー

産後けは血おて衣類の濡りやどかんに

葎草根と搦け二合さり醋をニ夕入かさせとらに用

産後の痢症に  
ゆ小便より白さけとわして金かかり同

蒼耳葉と拵けをえぼり飲べー同

又方苜蓿菜と水とて煮てとけして粥と煮食してら一同

又方荊芥穂と又荳蔻のくづとさる程とや麝香おらるらへも

研て粉と沸湯とこれのじべー同

又方蛇合一握あつて法葉と用ゆ同

又方桃膠焙り蒲黄炒沈香等と粉とて二合を後と飯の

り湯とて飲べー同

産後血りりて止さるふ

乾らら地黃と粉とて一合を後と漿酒とて用ゆ同

又方紫雲英と粉と水とて吞べー同

又方百草乾蒲黄炒粉と酒とて用ゆ血りると止さる



とのよ阿膠一匁の量用ゆ 碎金方

又方乾艾二匁と姜二匁水に煮て黄耆一匁を合へ 救急方

又方沃蘭水に黄耆一匁を合へ 傳信尤易方

血りてやまば阿膠一匁に

芍薬二匁熱黄耆一匁枳実一匁熱黄耆一匁水に煮て黄耆一匁羚羊角と

中さ灰一匁して二匁研りれかしを合へ 登黄二匁夜復丹

産後水血多くなりて腸胃虚湯大便云々に

阿膠蚌粉と入炒枳壳等分粉一匁蜜して後りその入さに

九ト 膏石と粉一匁二十粒づく白湯にて吞りて 得効方

又方好茶と葱白と後り九ト茶湯にて用ゆ或は葱白十

莖を水にて洗葉ト茶湯かきませ用も 同

産後大便通せざるに

麦芽と炒黄耆一匁粉ふして二匁沸湯かきませ粥の内に入

用ゆ 本草細目

又方麻仁と搗けと玄ぼう紫蘇と搗けを玄ぼう等分

を汁にて煮と粥と煮て合を合へ けおるふより大便通せ

ざる小用ゆ 同

産後小便通せざるに

紫草と粉一匁二匁づく液とそのみみ用ゆ 同

又方龍婦六ツツ粉一匁酒とその合へ 同

産後黄耆と小使通せざるに

雞屎白と中さ灰一匁一匁酒と飲べ 同

乳汁少

乳汁少

乳汁少

胡麻と炒研て湯かき合せ合へ 同

本草細目











焼粉やきこな一ひとわわののゆゆりりててしし  
又方雜屎ざらふのり白しろと炒粉あぶらこな一ひとてて一ひと酒しゅ一ひとてて用もち同  
又方丁香ていこうを粉こな一ひと付つててしし 肘後備急方

乳核ちかく

乳核ちかくの心こころよよくくままりりかか来きららなり

益母草やくぼくそう一ひと升しやう水みづ一ひと升しやう合あへへ一ひと升しやう黄わうばばつつららななわわひひててしし  
又方百葉ひやくがく黄わうと粉こな一ひとてて二ふた酒しゅ天目てんめつ一ひと盞さん入いれれ六む七しち夜や経けい沸ふててしし  
飲のべべ一ひと同

乳癰ちよう

乳癰ちようの心こころ結核くつかく出で来き赤せきくく腫しゅ久くくく治ちせせれれをを痛いたつつくく潰つぶしてして膿うみああるるととああかり

白芷びやくし貝母かいぼ各かく分ぶん粉こな一ひと盞さん酒しゅをを用もち初はつくく搗たかかららくく  
に用もち少すく 本草細目

又方蒲公ぼくこう英えい分ぶん五ご冬とう一ひと盞さん水みづ天目てんめつ一ひと盞さん入いれれ一ひと盞さん黄わうばばつつららななわわひひててしし  
後のち小せう香かう一ひと同

又方射干しゃくかんの根こん薑黄きやうわうの根こん各かく分ぶん粉こな一ひと盞さん酒しゅをを用もち初はつくく搗たかかららくく  
又方紫菀しやくわんと水みづ一ひと盞さん黄わうばばつつららななわわひひててしし并あひ小せう紫しやく菀わん根こん  
搗たかかららくく同

又方浪なみ香かうと研けんつつがが酒しゅ一ひと盞さん黄わうばばつつららななわわひひててしし并あひ小せう研けんつつがが酒しゅ一ひと盞さん黄わうばばつつららななわわひひててしし  
を脱だつしし付つててしし 腫しゅをを治ちすするる小せう付つててしし 同

又方人ひと齒しと中ちゆう粉こな一ひと盞さん醋じやく一ひと盞さん貼てててしし 腫しゅをを治ちすするる小せう付つててしし 同  
又方新しんに醋じやく一ひと盞さん石しやくと中ちゆう粉こな一ひと盞さん醋じやく一ひと盞さん貼てててしし 腫しゅをを治ちすするる小せう付つててしし 同  
潰つぶしてして膿うみああるるととああかりり 同  
くくままりりととああかりり 同

醫方類聚

乳癰











衛生易簡方

小便通ざれば乳を吐べし

衛生易簡方

小兒胎毒を解するに

生れあはるる時黄連の黄湯とてあはるる諸瘡丹毒などを  
 けむるに并に生れあはるる毒をわけざらば黄連の黄湯一  
 七錢のものをひきこき一匙現疹乃敷をせむ 本草綱目  
 又方生れの時麻をひきこき一匙小兒よとて一ひれ胎毒とて  
 又方椒椶一両中を粉す一硃砂の粉も分研せ生れ時麻を嚼て  
 吐けし衣の粉末を粉り粉すつと毒の毒をふく小兒に吐せむ  
 此ハ胎毒のつくりとて一匙  
 又方小兒生れと後十三日めに小兒の脈を焼灰とて乳け  
 くととに飲せむとて一匙 同

臍腫 附胎瘡胎濕

小兒胎毒を解するに

桂心を炙り粉す一匙とて乳を敷てとて一匙 本草綱目

又方黄連を粉す一匙麝香かざらりこれとて乳を敷てとて一匙 或ハ

胡椒等を入りてむとて一匙 同

又方荊芥の黄湯とて胎をぬきひ葱を炙灰とて乳を敷

やとて一匙とて乳を敷とて一匙胎の上と敷べし 同

又方杏仁を研りて乳を敷とて一匙 衛生易簡方

又方赤油を粉す一匙 十便良方

小兒胎毒を解するに

桑木の汁をとり乳頭より小兒に吐せとて一匙 千金簡方

又方東じきの壁乃去をとり粉す一匙とて一匙 瘡よりけりて

止りて一匙茶母子を中と粉す一匙とて一匙 同

又方黄蘗を粉す一匙とて一匙 待信易簡方



又方綿子をやき灰し一付て本草綱目

又方馬齒莧をやき粉し一付て脈痿久し瘡にもの同

又方蜂房をやき粉し一付て同

小兒臍疔にむすりて加りるぶりをこもくはせられん臍疔をとりかりお乾せ下

生子の臍疔を焼て一ふふ油を取りて臍疔を二分又一層粉し一付て下り同

又方塩二分又大豆半合を搗きらし一餅のどく一錢の

大さふらし一尺一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又方一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又方赤土を粉し一腐香からり入研つけて下り或ハ胡粉

等分に入てむす一本草綱目

小兒臍の内らけけして止む或ハ臍の血を取りて一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

一丸のけけして下り付て下り十便良方

臍風

小兒臍風に臍の疔を取りて一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又のお乳けを飲とありと急よはせされば命危き症なり

大蒜を切りて臍疔の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

小兒の口中蒜の汁を取りて一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又方蜂蛭耳葉等分同一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又方艾葉をやき灰し一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又方塩湯に漬けて一日の指を取りて齒の泡を搗き下り同

又方茄子花をやき灰し一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同

又方一寸一尾の上とて多く搗き臍疔の上を敷て下り同



撮口

小兒撮口ハ面黃に息づゐわしく唇もく舌こもり口を撮あけらるるやうふして啼きもあざりたり大抵撮口脈風お似たり症予の古方と又むらゐは法とあるやうなり

白僵蚕並ありとのニツツの嘴をすりかき粉をすりかき

そのの口中よりてより

本草綱目

又方合欬の犯并又枝を水とほ薬ト温めて先納して口中をよりぬぐひ右の葉汁とをほめてより

又方生耳葉二枚を水一盞入ふ分りよ葉ト飲まひへ

小兒痰涎を吐へし主後乳汁を口中にりてより

又方南星皮と脈とをとり去粉し醋ととら足の心よりてより

又方衣魚を粉しとせむる乳飲より児と吮せより

又方小兒の口の上へ灸を四柱と躰魚をやき研粉し酒よりれりませむるり児の果灌れ并小兒の口を危しとせより

糖口

小兒糖口瘡ハ口中に白き細りり細一面よりト口瘡と啼きもあざりたり

鼠婦を研つぎ水ととら口中に塗るは撮口脈風にも用ゆ

又方桑樹の皮のちふわり白く汁ととら粉を研り口中に塗る

又方小豆の粉を醋ととら口中よりてより

又方燕脂を乳けしとら口中よりてより

又方髮毛を指し纏ひ汲とてそのあふを台のと拭ひてより



本草綱目卷之六

一 指は内と小児の口やとやひ白屑状なりて後  
黄丹を細くし一甲は搽く

衛生易簡方

乳蛾

小児咽は小舌腫れか来たりたりおくほせざれば是れ乳蛾なり  
車前草を研き梅干を酒にて煮るをむしりて搽く  
けを云りたり多の乳をむしりて腫るをむしりて  
一 痰を吐て腫れをへし  
本草綱目  
又方雀屎尖を二十粒を砂糖より砂糖よりかきませ丸として二九  
一 一丸を綿よりつくとふくまめけを飲むべし  
病勢甚しき者二九も用てし  
同  
又青皂莢一箇百葉霜一分粉を冷水にて洗生油を  
かきかへ攪きを灌ぐれく

衛生易簡方

又方升麻散ありて洗葉に灌ぐれく

同

夜啼 附腹痛啼 驚啼

小児夜啼止るに

燈花二ツ三ツ研粉し 枕心の黄湯にてかきませ口中に入  
乳けしとのこまむむべし 或は枕心を焼灰し乳けより吃せし  
又方黄連葉けむむしりて炒て一合耳葉より竹葉二十枚入  
水にて煮し用ゆ 無妙方  
又方又倍子を粉し唾よりこのへ脈に付てし  
又方明鏡を小児の枕にやまかけし  
又方蝶蛻腰のこころのをせむつと粉して二分重湯  
荷の葉湯は酒かきし右の粉末をいれ飲むしをいれ  
く啼止るし 此方黄連とてとて蝶蛻の乳乃る

本草綱目

本草綱目卷之六

世五







小兒痘疹ふかすされて同くせんとりけ

皂莢を粉にして少づり鼻の口へ吹入れて同

又方杏仁の黄を粉にして二三次水をかきませ見のま  
灌のま一并に右の粉を鼻の中へ吹入れて同

痘疹

小兒痘疹入概井くこまれざれば食和かどとありまより痘疹

そりあり腹より喉まで口湯さ或ハ身癢しと足冷  
中より腹溜すどとらさ腹づくの症あり

鶏を常のどく料理し煮て毎朝食して本草細目

又方鷄子の黄を乳けよれりかきませ吞て同  
又方鼈甲をせ粉して二三次乳けよれりかきませ用ゆ同

二夜づ用て同

又方本香二五から黑牽牛五五粉して粉糊して移り蝦蟇

の皮に丸し米飲して用ゆ二歳の児は三十粒用て  
児の大小より丸数を増減して得効す

又方慈懸使君等分粉して蒸餅糊して移り麻子の皮ふ  
丸して二十粒づ飯のすり湯を中一切の痘疹つれに用ゆ本草細目

脾痘入概腹大は眼うらく口乾さ咽かハとそと皮膚瘦  
あやむるものなり

薑蒼史君子等分粉して二三次飯のすり湯を中用ゆ衛生要方

次痘面黄と腹大して食をれ即ち吐く  
母丁香七粉して乳けよれりかきませ蒸晒かき又蒸して

二夜よして再び粉して蒸湯して用ゆ本草細目  
痒して腹中積聚か果腹大より熱身ハ瘦るに

立秋の後大なる蝦蟇頭で足と脇とを切り油をぬり



尾二枚乃内へれ炙り熱し合せしむ一積ちのうらり  
べし蝦蟇六粒と石のどくし用てし

痔して大便りに  
鬼屎を炒て炙る蝦蟇一粒と焼灰一粉を縮まつて  
蓮子乃人さ経す小兒の肛門はれてし日よ之夜丸を

糞瘕小便茶海のどく大便すのいざりとのなり  
糞中の蛆をとりやき灰し食物の口はれ用てし

小兒鼻露と鼻の下二布赤く六瘕瘕なり  
黃連の粉をほあしてははよこす及ぶ付べし

又方黃丹二十粒炒紫多まし緑豆粉一及白朮一及むと  
し唾しとくして付べし 傳信尤易方

癰疾

小兒脈のまよりに癰積なり

老鼠の肉をとり水よ煮方けしを瘦茶を粥よ煮く  
合せしむべし 本草細目

小兒乳とこかり癰積とすりきり小  
白芥子を研細し水よ経り積のよ赤く

又方糞中の蛆をとり洗晒かハう粉し日草の粉かき  
りいし研せ飯糊よ経り大豆のふに丸ト十粒つ

飯のこり湯よ用ゆ小兒のふ小より丸粒を消滅とす  
乳よても合せしむと喰し脾胃を清り積よ用ては

驚風

急驚風の陽症なり急よ齒をぬつめ糞さかん小瘕瘕なり  
つら寛視身反張をよせしむるなり







よか泥蒸し丸かき刺を去卵むらりを小児小食せむ  
一 毎年立春の日小用ゆきを瘡瘡のうきを一或は鶏子一ツ  
童便どうべんはむとと七目ふして丸かき水と煮合せむ  
本草細目

又方綠豆赤小豆黑豆各二合あつづかんざう耳草みみくさ二十五あ二升ふれ  
煮熟あかくしていつれも食し并あひ汁じゆを飲べし七日用て同

又方毎年十二月晦日つごひ白鶴しろがねを帝みかどのどくたけにありともあて  
かりとも食せし并あひ白鶴しろがねの毛けと少すく量りやう小児あひはあむむ

又方十二月八日いさ治いさるう兒こ二ふさり肉にくを刺さ血ちをり麩ぶ粉こな小  
かきまを移うつり合あ綠豆あざの大おほふ丸たまご二十粒まごづあ綠豆あざの羹湯あじよ

て用もち小兒あひ一人ひとりは右みぎの葉は一劑いちざい用て同或ある右みぎの方かたの口くちへ  
殊砂とくさ三五さんご寸すんとくむ同

又方十二月八日いさ治いさるう兒こ一ふさり肉にくを刺さ血ちをり蕎麥粉そばこな  
小ち量りやう雄黄ゆうわうの粉こな四よ分ぶんを移うつり合あせあ綠豆あざの人ひとふ丸たまご一ふ

葉はの小兒あひは二ふ粒まご乳ちゆ汁じゆと用もちゆあ赤あかとあ黒くろとあをあむむ  
一 葉はの餘あまりあ一ふ生なま瘡かさ瘡かさかあむむとあ出でてもあ稀うすくあ

又方六月むい以もち綠瓜あざの蔓つるとありあ法はふ于あ二十ふ分ぶん貯たくわへあ月つき朔しやく日にち  
に水みづとあ煮あトあ小兒あひ小ち治いさてあ一ふ煎せん面めんもあ足あるあ小ち沙さ次じはあ

瘡かさ瘡かさかんあとあ時とき用もちゆあ色いろバあらあるあべあ

朱砂しゆさの粉こなみあ蜜みつをあ一ふ分ぶんああ小ちれあのあひあべあ

又方霜しもまあひあるあ綠瓜あざ蒂たき付つのあ右みぎ寸すんをあつあ絲いと形かたちのあくあつあれ  
ぶあかあにあ燒あ粉こなとあ一ふ分ぶんああ炒あるあ糯もち米こめのあ羹あじトあけあて

用てあ一ふ葉は聚あ單たん方ほう  
又方赤小豆あかあずきの粉こなを醋すまあかあきあ付つべあ

瘡かさ瘡かさ毒どくをあつあてあ快あかあどあ或ある煩わづら同あをあどあとあふ  
瘡かさ瘡かさ毒どくをあつあてあ黄あ白あ芍あ薬やくをあ粉こなとあ一ふ分ぶんああ用もちゆあ或ある水みづとあ用もちゆあ

十便良方



傳信尤易方

瘡癤おろわに

又方樺皮をあらして煮て飲べし并に荔枝を食べし

本草綱目

又方垂根をあらして煮て飲べし

又方紫草をさざり沸湯の内に入物とせしめて煮てのり

又方山植子を粉し湯にゆきまぜのびる

又方熟したる絲瓜の蒂乃方三寸程よりて焼粉し砂糖

水とて飲べし

瘡癤をこに或はか子と咽いしむに

牛蒡子炒て一握取茶多りて中を煎茶四分水天目に一握

入一盞とせんしつめ用ゆ

衛生易簡方

瘡癤をこに毒をくふに

犀角屑二分牡丹皮二分生地黃一分芍薬一分又厚朴一分

目は一盞とせんしつめ用ゆ

瘡癤治しむに

草薬と多り松栲根等分水とて煮てのびる

瘡癤腫いしむに

白芍薬四分粉しして二分酒とて用ゆ

瘡癤をこに或はか子と咽いしむに

蝉脱翅と足と瓜をわらひ汁くし粉して一盞煮湯とて

用ゆ

又方人齒散のくづをさざり粉しして一盞煮湯とて

用ゆ

又方人齒散のくづをさざり粉しして一盞煮湯とて

用ゆ



痘疹痒つてに

病人の息を茶葉とやき煙を常にかきへく

又方探脱二十片茶一ふ水に煮て飲む

傳信丸方

痘疹膿毒あつて眼にあはるるに

又方生薑搗きさらし布につく搽て

痘疹膿いてまわりきるるに

黒豆と粉して付て

本草綱目

又方蕎麥粉とつけて

又方嫩き柳葉紙林のよふふを汁へ濕りまき

又方枇杷葉と水に煮て

又方绿豆粉と搽て

景聚草方

又方象牙屑と銅鈿を入炒赤く粉小く七八分

飲べ

痘疹灌膿の疔隔くを灰の息せしめ

天靈蓋とやき粉小く三分酒に飲べ

粉して二分を水に用ゆる

痘疹陥して黒くあはるるに

白花蛇骨と小骨を二三分香七粒粉して二分

又方山檀子と粉して一ふ紫葳酒を煮て

又方人牙猫牙犬牙等分やき粉小く二分

又方沉香白檀乳香等水に煮て

湯烟を煙とく



又方人牙とやま粉一麝香がむらひを研て六分温酒

酒あくのりして同

痘疹足より腫る成例腫と

鼠婦を炒粉して二分入酒して用ゆ

痘疹赤らかぬらふ

砂糖水と一椀のりして又砂糖湯とすり同

痘疹おら初小日小やぬやうにふせくふ

白芥子と粉一水あけゆり足心よわけてすり同

痘疹目小り腫と生し

穀精米派粉一乾粉よつけ合せてすり同但し生粉へりし

又方白菊花穀精草绿豆皮等粉して二分乾粉二つ粟

米俵天目一盃入煮かへり粉を合とすり毎日粉二つ合

してすり同

又方猪蹄爪とやま皮一湯よむりてすり同

又方螺蛳を水と煮毎日食してすり同

痘疹の依毒して咽い

蛇脱とやま粉一砂糖水かき餅のりしてすり同

痘疹食て後身變りく腫

黄芩熟地黃各五分水と煮て飲べ

痘疹の塊依毒して腫

绿豆小豆黑豆等分粉一醋あけぬらりてすり

丹毒

丹毒の血身にひりくと赤く腫れどくりを搦ると甚き

かりと敷甚多しとんきやせりやとりのりやとんき

此うらの一種なり或は赤く腫く櫻桃のごとくあり又推小



又ハ七日又ハ二ヶ月乃チラ小水有る者ハ

藍澱とつけて本草細目

又方小豆粉と鶏子清同

又方新同蓮葉と搗同らり同入搗同を塗同て同

又方粟米同と同つけて同

又方芒硝同を同と同に同付同て同赤白遊風同も同用同少同

又方粟皮同と同あ同み同く同糞同ト同飲同ま同めて同

又方蚯蚓泥同研同細同と同あ同ま同と同に同付同て同

又方乳同け同は同と同が同入同糞同ト同搗同ら同り同搗同ら同り同と同麻同と同

丹毒面より腫同ら同り同ら同に同

伏龍肝土同と同雞子白同と同と同に同付同て同

丹毒胸の上より腫同ら同り同ら同に同

搗梅子粉同と同醋同と同に同付同て同

衛生易簡方

丹毒背より腫同ら同り同ら同に同

柳の木同と同灰同と同水同と同に同付同て同

本草細目

丹毒脚より腫同ら同り同ら同に同赤同く同腫同ら同り同魚同い同づ同ふ同

鱈魚同の肉同を同ら同り同て同二十同ふ同小豆同の粉同八同分同搗同ら同り同水同と同に同付同て同

又方付同て同

又方伏竜肝同と同粉同と同雞子白同と同と同に同付同て同

千金要方

丹毒い同に同

篇蓄同紙同搗同け同二同合同せ同ん同く同水同飲同ま同り同て同

衛生易簡方

又方同の丹毒同に同

鹿角同と同燒粉同と同醋同と同に同付同て同日同六同夜同に同使同す同

本草細目

又方榆同白皮同と同粉同と同雞子白同と同と同に同付同て同

又方乾姜同の粉同を同搗同ら同り同て同

又方蒺藜同葉同を同搗同ら同り同て同

皆收頭方同

四十四



赤白遊風并纏蛇丹

丹毒也 丹に出ず火のどく獲し 赤白定むる時 赤白

本草綱目

小螺蚌の肉より塩をとりぬき 搗き 同

又方 鐵鋪をとり 煎して 同

又方 蒲葦根とあをを 煎して 同

又方 又味子と桑り粉 同

衛生易簡方

丹毒身 瓜まより蛇のまより 纏蛇丹と云

伏龍肝と粉 同

又方 糯米を粉より 同

天泡瘡

丹毒根 赤く 泡のどく かりを 天泡瘡と云

蓮花と粉 同

又方 蓮花房と焼粉 同

又方 藍葉紙 搗けて 同

又方 生の百合と搗き 同

又方 雞子を煮く 丸か 同

すりゆりて 同

疔瘡

小兒疔の病 疔を口 疔の鼻のわきに 瘡が来す 瘡を食らる

麻仁と嚼つて 同

又方 雞子を煮く 白と紙を煮く 同



又方生粟と齧付てより同  
 又方東ひきの壁乃去ととり胡粉とまを付てより同  
 又方熊膽紙湯とてらにわけてより衛生易簡方  
 又方乳母の口中とて白米と齧わけてより同  
 又方又倍子の肉へ白蒸とて焼色し粉と摻付けてより彙聚草方

疥瘡

小児の疥瘡の面并耳乃とてかたに細なる濕瘡出ず痒  
 うらむいさまに汁わけてつけのつさく瘡とあるなり  
 母の口中とて白米と齧てより本草綱目  
 又方杏仁百粒を焼灰と輕粉少入麻油とを極り付て救急易方  
 又方肥皂灰と黒やまみ粉と輕粉少しいを麻油少く極り  
 付てより同

小兒雜症

小兒項軟あて首とてとらざるに  
 附子皮と酥と成去天南星等と粉と生姜汁少く極り天  
 桂骨少付てより本草綱目 附子のこ製法のちあり  
 又方又加皮と粉少し酒とてとら頭骨少わけてより傳信尤易方  
 小兒顛舍用と合ざるに  
 防风十又五拍子に十又白及十又粉と乳汁ととら顛舍  
 小仍べ一日に一遍づ付てより千金簡易方  
 又方鷄冠血ととり顛舍小搗て赤芍薬と粉と付てより本草綱目  
 小兒解顛の顛めとてとらとて合ざるに  
 生じり蟹乃足骨焙かき白飲等分粉と乳汁ととら  
 骨縫上にわけてより傳信尤易方







小兒腮頰腫下腫らに

牛蒡子 荊芥 德耳草 等分とさして一盃水一椀入葉下用少同

小兒瘰癧ありて湯つゝく久しく止むらに

葛根を水とく煮下用少 本草綱目

小兒疔瘡ありに

冬瓜を多り瘰癧しまけをまほりそりのとてしり同

小兒涎を多くかかるとに

鹿角と粉して二分又重飯のこり湯みく用少同

小兒年小疔癧ふあり面赤く腹こり身とがめとまげく啼又

新しき馬糞をとりけとまほり果そとまほり同

小兒天吊ハ瘰癧して瘰癧さなり目とよえつめまほりくつあり

蟬脱と醋と煮と一日ふして曝かハ粉して二分又重冷

小兒入飲まむへー 衛生易簡方

小兒重断ハ齒断腫し下腫とそらとに

蛇皮をやみ灰し腫らるに傳てしり同

小兒腹の皮乃又腫し下腫とそらとに急小治せざれば死るとあり

胡粉と塩とまぜるのかきり炒腹小わりてしり 本草綱目

小兒の瘰癧に

龜屎取とり胸と背とふわりてしり久しくまほりて金へ

但し瘰癧と丸しハ瘰癧の鼻を松葉とてませばありたり或は

瘰癧を青蓮葉の上のを焼して照せ六ありたり同

小兒何とそく瘦つゝるに

耳葉と多り焦し粉み蜜みく移り緑豆の火とふ丸し

て又粒つゝ湯しと用てしり同

小兒の陰莖腫或ハ陰股に瘰癧かまらるに

乳髪とやさ付へー 傳信尤易方



又方麩粉と水よく舂り餅のよく舂り糞一餅糖紙  
ゆり先瘰癧と蜜とゆりて後右の餅糞一とるみく瘰癧のよと  
糞へし冷まきと丸之と糞へし同

救急易方

小児熱身に悪瘰癧を来しるに

皂莢とよごま水よかきまを瘰癧とあひ拭ひ乾し小油麻

傳信易方

小児の乳とくあひふ

搥子二箇瓶のくつとぎらねよと雌黄辰砂各少許粉子

一輕粉少いと研まを坐油と舂り児の睡しる時取屑小

く塗てしと睡さめて乳と飲らるとのきりいましと効

得効方

普救類方卷之六終





